

社会保険労務士合格体験記

北海道浦河市 矢本美樹（カセット総合・問題解説コース・平成17年合格）

合格したうれしさ

今、あらためて合格発表当日のことを思い出すと、体の底からうれしさがこみ上げてきます。決して楽な道のりではではありませんでした。おそらく23年間の人生の中で一番辛い八ヵ月間だったと思っています。そんな日々を乗り越えてきたからこそ、喜びは何倍にもなりました。

私が社労士を目指したきっかけ

私が社会保険労務士を目指したきっかけは、高校卒業後に就職した所が社労士事務所だったため、仕事をしていくうちにどんどん社労士事務所の仕事にのめり込み、たくさんの知識を吸収したいと思うようになったからです。

二年目の覚悟

社労士事務所で三年の実務経験により受験資格ができた年に一度目の受験をしましたが全く歯が立ちませんでした。社労士試験をかなり甘く考えていました。このままじゃいけないと気持ちを大きく入れ替えて、自分に厳しく臨もうと思った二度目の受験。8月28日当日までのくるしい日々は私の想像を遙かに超えていました。

スコールでの学習方法その1

本格的に益強に取り組み出したのは一月からです。スコールのカセット講座を受講していたのでそのカリキュラムに添って学習を進めていきました。テキストは半面全てが条文、もう半面が解説という。一見難しそうな内容に感じましたが、この条文中心の勉強方法が、後々の私にとってとても重要な財産になっていくとは初めの頃は思ってもいませんでした。

スコアレでの学習方法その2

テープ（カセット通信）の良さは、先生の講義を聞き逃してもすぐに巻き戻し、何度も繰り返し聞くことができることです。私は先生がおっしゃった大切な部分はすべてテキストに記入し、過去問やその他の参考書から得た知識も書き込み、このテキスト一冊ですべて賄えるという位の凝縮したものにしました。当然これを持ち歩けばほとんどの問題を解決することができました。

スコアレでの学習方法その3

その他の勉強方法としては、分野別問題（過去問）を中心とした問題を解く繰り返しの作業です。最初は一問一問テキストに戻り条文を確認しながら解いていったので、最初は1問に30分以上かかるのは当たり前という状態でした。ところが回を重ねるうちに解くスピードが早くなり、どこの条文を参考にしているのか、テキストのどのページに載っているのかということまで瞬時に頭に浮かぶようになっていました。過去問や模擬問題を見ていると条文を抜粋したものが多く見受けられます。ですから、私はスコアレで実力テスト、答練及び模擬試練が有るたびにその前に必ずテキストの初めから終わりまで目を通すようにしました。もちろん自分が手書きで記入した重要な事項もすべてです。この作業をするかしないかによって点数が何点も違ってくることを私は実感しました。

スコアレでの仲間との出会い

最後に試験を受けるまでの過程で欠かしてはならないものは、共に辛く険しい道を乗り越えていく「仲間」だと思います。誰のためではなく自分のために挑戦する試験ではありますが、切磋琢磨することで色々なことがプラスに働き、最後には良い結果が出ると思います。スコアレのゴールデンウィーク特訓はたくさんの仲間が集まるので親しくするには良い機会でした。

いつも助けになってくれたスコアレの仲間、そして何よりも分からない点は即座に教えて下さり、落ち込んだときには元気を与えてくれたスコアレの先生に感謝したいと思います。ありがとうございました。